

公開シンポジウム



～よみがえれ！竹林～

－タケ資源の循環利用に向けて－

◆開催日時：平成 22 年 1 月 30 日（土）

13:30～16:30 ＊受付 13:00

参加費無料

◆開催場所：高知会館 高知市本町 5-6-42 TEL.088-823-7123

会場定員 150 名（先着順とさせていただきます）

◎会場駐車場有り。＊有料（1 時間 100 円、以降 30 分毎 50 円）



◆お問い合わせ先

森林総合研究所 四国支所
連絡調整室

TEL.088-844-1121(代)

FAX.088-844-1130

<http://www.ffpri-skk.affrc.go.jp/>

[mail:koho-ffpri-skk@gp.affrc.go.jp](mailto:koho-ffpri-skk@gp.affrc.go.jp)

路面電車、バスとも「県庁前」下車、徒歩 1 分。

高知駅から 15 分、はりまや橋から 7 分。

主催：独立行政法人 森林総合研究所（事務局：森林総合研究所四国支所）

農林水産省 農林水産技術会議事務局

後援：林野庁（予定）、高知県、大阪府環境農林水産総合研究所、山口県農林総合技術センター、愛媛県農林水産研究所、高知県森林組合連合会、NHK 高知放送局、高知新聞社、RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ、KCB 高知ケーブルテレビ

裏面もご覧下さい

西日本各地の里山で放置された竹林が目立ちます。

竹林内は枯れ稈(かん)だらけで荒れ放題、勝手に隣接する雑木林や植林地へ侵入しており、すっかり「里山の厄介者」扱いされています。

しかし、タケは伐採しても自然に再生する便利な木質資源です。何とか有効に利用したいもの。でも、いざ利用しようとしたら解らないことだらけ・・・

そこで、利用者の声に応じて問題の解決に挑みました。一緒にタケのことを考えてみませんか？

【講演概要】

<タケ資源はどのくらいあるのだろう？>

森林総合研究所四国支所 奥田 史郎

どんな資源でも資源量がわからないと利用計画は立ちません。日本は世界でも有数の「森林国」で、スギやヒノキの林なら、面積・資源量についてきめ細かな統計情報があります。ところが、タケの場合は基本的なデータがほとんどありません。そこでまず、竹林の単位面積当たりの資源量を推定する方法を考えてみました。

<伐採や搬出の手間は？ コストは？>

森林総合研究所 林業工学研究領域 上村 巧

次に必要なのは「何人が何時間働けば 1 トンの竹チップを作れるのだろう？」「コストは幾らだろう？」という数値です。これが解らないとタケ利用の事業はスタートできません。こういった生産性やコストの数値は、立地条件によって大きく異なりますが、比較のため統一した基準で試算してみました。

<点在する資源を効率的に使うには？>

国際農林水産業研究センター 林業領域 野田 巖

里山には、小さな規模の竹林が点在しています。個々の竹林は、それぞれ地形条件やアクセスの善し悪しがばらばらで、そのために使い勝手が悪いと言えます。

そこで、効率的な利用のサポートのために「あるエリア内で、一定以下のコストで搬出・利用可能な竹林の位置を図示し、資源量を推定する」システムを試作してみました。

